



四万十つの里づくりの会 令和5年度取り組みダイジェスト

令和5年

*この資料の作成にあたっては、夕部眞一氏（四万十つの里づくりの会）及び国土交通省中村河川国道事務所から写真を提供していただきました。

年間を通じて

江ノ村地区でのツルのねぐら・餌場づくり

《実施内容》 ツルの越冬地となるよう、江ノ村の休耕地を復田し、地元で農業を営む会員に稻作を行ってもらいました。稲刈り後のツル渡来時期にはツルがねぐらとして利用できるよう、水田に水を張りました（冬季湛水）。

5月

のいち動物公園での出張パネル展

期 間 ■ 5月 27 日～6月 25 日
場 所 ■ 高知県立のいち動物公園（香南市）
主 催 ■ (公財)高知県のいち動物公園協会
協 力 ■ 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会、
四万十つの里づくりの会、
国土交通省中村河川国道事務所



《実施内容》 四万十市にツルが来ることを多くの人たちに知つてもらうため、高知県の人気施設であるのいち動物公園でパネル展を開催。5月 27 日と 28 日には取り組み等の解説も行い、150 名を超える方々に展示をご覧いただきました。

9月

令和5年度総会

日 時 ■ 9月 12 日 14:00～15:00
場 所 ■ 四万十市防災センター 参加者 ■ 17名

《実施内容》 コロナ禍を経て、3 年ぶりに対面で開催しました。前年度の事業内容や収支決算の報告と承認の後、本年度の取り組みについて審議しました。例年の活動の継続の他、ねぐらづくりに特に力を入れ、地元の小学生の協力も得て「平面デコイ」を本格的に導入することになりました。



ツルの学習会（①授業、②平面デコイ作成）

日 時 ■ ① 9月 14 日 10:35～11:20 ② 9月 28 日 10:35～11:20
場 所 ■ 四万十市立東中筋小学校
参加者 ■ ① 17 名（東中筋小学校 5・6 年生 9 名、その他 8 名）
② 20 名（東中筋小学校 5・6 年生 10 名、その他 10 名）
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》

- ① 総合学習の時間を活用し、四万十市に飛来するツルの生態や昭和の頃からの確認数の推移、保護活動のあゆみ等を紹介しました。
- ② 子どもたちに「平面デコイ」を作つてもらいました。ツルの形にくり抜かれた板に色を塗つて、乾かしての繰り返し。学習会後も作業を続け、約 6 時間かけて完成させました。



四万十市のツル パネル・写真展

期 間 ■ 9月 27 日～10月 13 日（四万十市役所）、
10月 26 日～11月 7 日（フジグラン四万十）
共 催 ■ 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会
協 力 ■ (株)建設マネジメント四国

《実施内容》 ツルを身近な鳥として感じてもらうため、四万十市民の集まる場所にツルの写真等を展示しました。



10月

秋の「ツルの自然体験学習会」

日 時 ■ 10月 27 日 14:00～15:40
場 所 ■ 四万十市江ノ村
参加者 ■ 31 名（東中筋小学校 5・6 年生 10 名、その他 21 名）
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 当会がねぐらづくり（冬季湛水）をしている江ノ村の 2 カ所の水田で、子どもたちがナベヅルそっくりの「立体デコイ」と、自分たちで作った「平面デコイ」を 4 体ずつ設置しました。



地域の皆様、国土交通省中村河川国道事務所、(一社)四国クリエイト協会、(株)建設マネジメント四国など、多くの方々の協力や助成を得て、取り組みました。



取り組みの様子は
ホームページで公開中！

<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>

ツルの飛来状況調査

期 間 ■ 10 月下旬～3 月下旬

協 力 ■ 高知野鳥の会、国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 每日夜明けにねぐらにいる種類と羽数を確認し、ねぐらから飛び立った後は、水田地帯を巡回して降りている場所（餌場）と羽数、行動を記録しました。夕暮れにはねぐらに戻つてくるかを確認しました。



《調査結果概要》 初飛来は 11 月 12 日と例年より遅めで、江ノ村にナベヅル 6 羽が飛来し、ねぐらに入る際には 9 羽に増えています。その後は 1 羽が合流して 10 羽となり、後川流域（安並、敷地や岩田など）を餌場にしていましたが、11 月 20 日にはいませんなりました。11 月 28 日には家族とみられるナベヅル 3 羽（幼鳥 1 羽含む）が江ノ村の水田で確認されました。その後、一時所在不明となったものの、12 月 27 日に四万十市に戻り、そのまま越冬。3 月 22 日まで滞在しました。

11月

第 15 回 四万十つの里祭り

日 時 ■ 11 月 25 日 10:00～14:00 来場者 ■ 約 600 名

場 所 ■ 四万十市立東中筋中学校

後 援 ■ 四万十市、四万十川自然再生協議会

協 力 ■ 国土交通省中村河川国道事務所、渡川ダム統合管理事務所

助成支援 ■ (一社)四国クリエイト協会、(株)建設マネジメント四国

協 賛 ■ 地域のたくさんの事業者の皆様

《実施内容》 多彩な催しを実施。東中筋小の子どもたちの学習発表やお米販売は今年も大好評でした。もち・菓子投げも再開し、皆さんに大変喜んでいただきました。



1月

ツルのオンライン交流授業

日 時 ■ 1 月 25 日 9:35～10:25 場 所 ■ 四万十市立東中筋小学校

参 加 者 ■ 22 名（東中筋小学校 6 年生 3 名、

鹿児島県出水市立切通小学校 6 年生 4 名、その他 15 名）

共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所、(公財)日本生態系協会

《実施内容》 6 年生同士が互いの取り組みを紹介し合い、意見交換を行いました。



2月

第 5 回四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会（総会）

日 時 ■ 2 月 14 日 15:00～17:00

場 所 ■ 四万十市防災センター

参 加 者 ■ 29 名

事 務 局 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 協議会では、多様な主体の連携・協働による四万十川の豊かな自然環境の保全・再生と地域活性化を目指し、その手始めとしてツルが飛来・越冬できる環境・社会づくりの取り組みを行っています。この日は会長が委員として参加し、R5 年度の活動状況を共有しました。

生態系ネットワークの取り組み

当会の会長と会員の一部は、「四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会」のコア会議やツル部会に参加し、ツルを活かした地域づくりの具体的な取り組みについて知恵を出し合い、行動しています。

コア
会議

第 16 回：6 月 21 日
第 17 回：8 月 24 日
第 18 回：12 月 12 日

当会から
6 名参加

ツル
部会

令和 5 年度第 1 回ツル部会：6 月 15 日
令和 5 年度第 2 回ツル部会：10 月 26 日
令和 5 年度第 3 回ツル部会：R6. 1 月 22 日

当会から
5 名参加

3月

環境活動見本市 檜多のエコ大集合 2024 in 黒潮町

日 時 ■ 3 月 10 日 10:30～15:00 参加者 ■ 約 360 名

場 所 ■ 土佐西南大規模公園ふるさと総合センター（黒潮町）

主 催 ■ 高知県環境活動支援センターえこらぼ

協 力 ■ (特非)NPO 砂浜美術館、
(特非)高知県生涯学習支援センター

《実施内容》 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会の一員として、四万十市でのツルの里づくりに関するパネル展示と「羽ばたく折り鶴」の作り方教室を行いました。



会報「四万十つるだより」

R6. 2 月 28 日に Vol. 29 を発行。
地域の回覧や行事で配布中！

